

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 職業能力開発施設整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 労働雇用課 人材育成係 電話番号：058-272-1111 (内 3126)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 27,141 千円 (前年度予算額：662,089 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	662,089	328,044						295,200	38,845
要求額	27,141	12,783						11,400	2,958
決定額	27,141	12,783	0	0	0	0	0	11,400	2,958

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

職業能力開発促進法に基づき、県が設置・運営する職業能力開発施設の一つである「国際たくみアカデミー」(美濃加茂市)は、職業能力開発短期大学校と職業能力開発校を併設しており、モノづくりの実践・実技を中心とした即戦力となる人材育成を目指した訓練を行っている。

職業能力開発校は、昭和 57 年 3 月竣工、築 38 年が経過し老朽化が進行している。職業能力開発短期大学校は、平成 17 年 3 月竣工、築 15 年が経過している。

「木工芸術スクール」(高山市)は、木工技術の習得に特化した即戦力となる人材育成を目指した訓練を行っている。同校の各施設は昭和 61 年 3 月竣工、築 34 年が経過し、老朽化が進行している。

両施設とも老朽化が進んでおり、長寿命化や訓練環境の整備の観点から改修が必要である。

(2) 事業内容

○たくみアカデミー職業能力開発校施設改修

- ・開発校本館外壁改修工事を行う。

<整備計画>

全体事業費：18,524 千円 (うち、令和 3 年度 16,437 千円)

令和 2 年度 開発校本館外壁改修工事実施設計 (2,087 千円)

令和 3 年度 開発校本館外壁改修工事 (16,437 千円)

○木工芸術スクール職業能力開発校施設改修

- ・電気設備（LED化）改修工事を行う。
- ・本館棟・実習棟B給排水配管等改修工事（R4）の実施設計を行う。

＜整備計画＞

全体事業費：12,421千円（うち、令和3年度10,704千円）

令和2年度 電気設備（LED化）改修工事実施設計（1,717千円）

令和3年度 電気設備（LED化）改修工事（9,176千円）

本館棟・実習棟B給排水配管等改修工事実施設計
(1,528千円)

（3）県負担・補助率の考え方

- ・施設改修（工事費用のみ） 1/2（対象面積に対する補助）

厚生労働省：職業能力開発校設備整備等補助金 活用

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	25,020	改修工事費用
委託費	2,075	設計委託料、工事監理費
事務費	46	
合計	27,141	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

第10次岐阜県職業能力開発計画

第4 職業能力開発の基本的施策

1 誰もが自分らしく活躍できるための人材育成

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 職業能力開発促進法に基づき設置・運営している県立職業能力開発訓練施設の適正な維持管理を行う。令和3年度は、国際たくみアカデミー職業能力開発校及び木工芸術スクールについて、長寿命化を目的とする改修を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

職業能力開発促進法に基づき設置・運営している職業能力開発訓練施設の適正な維持管理のための改修であり、数値的な指標を設けることは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 国際たくみアカデミー職業能力開発校配管改修工事、短大校屋根外壁改修工事、短大校空調設備改修工事、令和3年度に予定する開発校本館外壁改修工事の実施設計を行った。
 木工芸術スクールの実習棟B屋根外壁改修工事、高圧受電設備改修工事、体育館玄関スロープ設置及びトイレ改修工事、令和3年度に予定する電気設備（LED化）改修工事の実施設計を行った。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 前年度に設計を完了させることにより、次年度工事に必要な期間を確保することが可能となった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	開発校は築 38 年、木工芸術スクールは築 34 年経過。施設の老朽化が進んでおり、長寿命化の観点から改修が必要。また、訓練生に対しての訓練環境を整備するため改修を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	改修などの施設整備を行うことにより、常時適法な状態に維持管理することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	適正な建物の維持管理・訓練生の訓練環境を整備することができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 建物の定期的な保守点検・維持管理が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各校の建物状況に応じて適正な建物の維持管理を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	無し
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	無し